

【出展作家プロフィール】

井村ももか

1995年生まれ、滋賀県在住。やまなみ工房で活動。好きな色の布にボタンを縫い付け、その布を重ね丸めたオブジェを制作。



《みどりの玉》2014 年
Courtesy of the artist and ATELIER YAMANAMI

岡元俊雄

1978年生まれ、滋賀県在住。やまなみ工房所属。寝転がり肩肘付いて描く独特の方法で、墨汁と割り箸を使い、ダイナミックにドローイングを描く。



《女の人》2015 年
Courtesy of the artist and ATELIER YAMANAMI

小林 覚

1989年生まれ、岩手県在住。るんぴにい美術館内の共同アトリエで活動。養護学校(当時)在籍時に書きはじめた独創的な文字。教師陣は一時修正を試みたが、それを魅力的な造形表現と捉え直し、小林の創作ははじまった。気に入った曲の歌詞や言葉を独自に変化させて画面を構成した絵を制作。



《埴生の宿(花はあるじ鳥は友)》2009 年
Courtesy of the artist and Lumbini Art Museum

清水千秋

1967年生まれ、滋賀県在住。やまなみ工房所属。鮮やかな糸を用い、気に入った人物の絵柄を縫いこんだ刺繍作品を制作。「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 2020 ミュージアム・オブ・トゥギャザー サーカス」(渋谷ヒカリエ)では、彼女の作品がメインビジュアルになった。



《すっぽん祭り》2010 年
Courtesy of the artist and ATELIER YAMANAMI

砂連尾 理

1965年生まれ、東京都在住。ダンサー・振付家。《とつとつダンス part.2-愛のレッスン》は特別養護老人ホームでのワークショップを経て制作された舞台の記録映像。障害のある人や高齢者、妊婦など、ダンス経験のない人たちなどとのワークショップに積極的に取り組む。



撮影:森 真理子

《とつとつダンス part.2-愛のレッスン》2014 年

杉浦 篤

1970年生まれ、埼玉県在住。工房集所属。20年以上にわたり、旅行風景や家族とのスナップ写真を繰り返し撫でることで作品を生み出している。「すごいぞ、これは！」(埼玉県立近代美術館)などで発表を行い、近年では海外からも注目を集める。



《Untitled》1997 年-
Courtesy of the artist and KOBOSYU

高田安規子・政子

1978年生まれ、東京都在住。一卵性双生児の姉妹で制作活動をするユニット。身近なものを素材に、縮尺や時間を自由に組み替えて彫刻やインスタレーションを創作。作品を通じ、鑑る者の視点や、時間感覚などを問い返す。



《Vase》2017 年

寺口さやか

1972年生まれ、広島県在住。特別支援学校で解剖学や臨床医学を教えるため、人体模型の教材を自ら制作し、使用している。可動性のある模型は、生徒が実際に触ることで各器官の関係やスケール感を確かめられるようになっている。

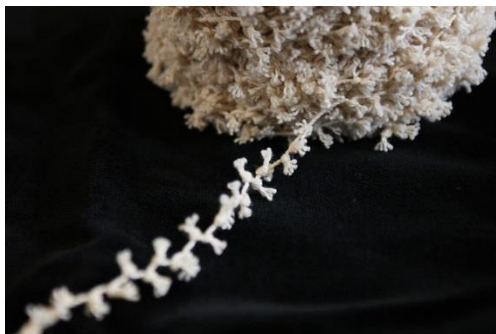


撮影：木奥恵三

《眼球模型》2016 年

似里 力

1968年生まれ、岩手県在住。るんぴにい美術館内の共同アトリエで活動。ある時、アトリエでの作業中、絡まった糸を切って結び直す所作を気に入り、それ以降、生成りの綿糸を切って結び直すことでできあがる糸玉作品の制作に専念。



《無題》(部分) 年不詳

Courtesy of the artist and Lumbini Art Museum

西尾美也

1982年生まれ、奈良県在住。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目、国内外で市民とともにプロジェクトを展開する。近年の主な活動に、大阪・西成の女性たちとともに立ち上げたファッションブランド《NISHINARI YOSHIO》の設立などがある。



《Self Select #65(Nairobi)》2009 年

納田裕加

1966年生まれ、埼玉県在住。工房集で活動。織り、絵画、刺繍などの手法で制作する納田。本展では、毛糸を糸巻きの芯に巻きつけたオブジェ《のうだま》を展示。



《のうだま》2017 年

Courtesy of the artist and KOBOSYU

伏木庸平

1985年生まれ、東京都在住。布と針と糸で作品を制作。2014年「田中忠三郎が伝える精神展」(十和田市現代美術館)から、アートの領域においても活動の幅を広げている。



《言葉はわからなくても、この歌は私の胸を膨らませる》(部分) 2018-2019 年

ピーター・マクドナルド

1973年生まれ、ロンドン在住。イギリス人の父と日本人の母の間に生まれる。明るい色使いで、大きな頭を持つ特徴的な人物を絵画に描く。国境や日常と非日常といった境界を超える作品を展開する。



《Hypnotic Rock Studio》2008 年
Courtesy of the artist and GALLERY SIDE 2

松井智恵

1960年生まれ、大阪府在住。映像から絵画、インスタレーションまで幅広い作品を制作。自身の身体を通して自伝的・触覚的な感覚を喚起する作品は、国内外で高く評価される。2011年9月3日から、一日一枚ドローイングを描き SNS へ投稿する《一枚さん》を制作。



《一枚さん》2019 年
Courtesy of the artist and MEM

松本 カ

1967年生まれ、東京都在住。一コマずつ手描きのドローイングを撮影してつないだアニメーションで、独自の映像表現を目指す。手製の映像装置「絵巻物マシーン」を用い、学校や美術館、滞在先の国や地域でワークショップを行う。



《Night and Day Watch／black, blue, red and violet》2014 年
Courtesy of the artist and TAKE NINAGAWA

宮川佑理子

1987年生まれ、埼玉県在住。工房集所属。両手に絵の具をつけ、紙の上を平泳ぎするように、全身を使って作品を制作。「ポコラート全国公募 vol.2受賞者展」(アーツ千代田3331)で大木裕之賞を受賞。



《Untitled》2013 年
Courtesy of the artist and KOBOSYU